

日本精神分析協会公開講座

「生き残る」ための精神分析

：きたやまおさむ著『ハブられても生き残るための深層心理学』を読む

日本精神分析協会は国際精神分析協会の支部として、精神分析を実践する集まりです。日本を代表する精神分析の団体となっています。毎年、精神分析を一般の人々に広げるための公開講座を行っています。

今年は、日本語の深層心理を追求する治療者である北山修氏が『ハブられても生き残るための深層心理学』(岩波書店)を公刊しました。この本は、迫害、疎外や排除されやすい状況、例えば、いじめやハラスメント、あるいは同調圧力の中で排除されてしまっているメンタルヘルスの問題を「ハブられる」とこととして明確に記述して、それに対して私たち日本人がどうやってそれに対応していくのか、どうやって生き残るのかについて描いています。

今回は、この本、および4月29日に行われる出版記念講演を受けて、この本を若手の精神分析家がどう読むのか、という視点から講演をしていただきます。対話を現代の精神分析家である二人の論客に行っていただき、それを受け北山修氏に討論していただくという形で公開講演を行いたいと思います。

日 時：5月7日 16時から18時

場 所：朝日カルチャーセンター新宿校とオンライン配信

司 会：妙木浩之（東京国際大学）

講 義1：排除の心理学：岡田暁宜（慶應義塾大学）

人間は、砂利の中から砂金を選別し金塊を精製し、身体から癌を除去して長寿を求めます。良いものを追求し、悪いものを排除するのは人間の本質といえるでしょう。一方で首長による排除発言を否定しながら、自治体における暴力団排除条例を肯定する人は少なくないでしょう。人間は排除を否定しながら肯定しているようです。近年、多様化・多極化する社会において、他者との違いを包容し、異類との共生が求められるが、同類幻想に基づく異類排除の心理は、人間の心の中から排除されているかもしれません。本書は、我々のこころの中にある排除の心理を再認識させてくれるでしょう。

講 義2：生き残るための心理学：池田政俊（帝京大学）

人間は仲間に「居場所」を求め、そこから排除されるととても辛く感じます。我が国ではこの排除の構造がウラに隠されて見えにくいからこそ、そのなかで生き残ることが大変になる、という視点はうなずけます。「劇的観点」は、この「排除」がそもそも人間社会の必然であること、仲間に入らないのではなく、そこから完全に撤退してしまったり引きこもってしまうのでもなく、何が起きているのかを理解することで一時的に退却して「生き残る」方法を教えてくれます。馴染みにくかつた精神分析の文化を我が国に取り入れる極めて奥深い論考だと思います。

討 論：北山修（北山研究所）

参加費：5,280円（朝日カルチャーセンター会員は4180円）

*4月29日（金）にきたやまおさむ『ハブられても生き残るための深層心理学』（岩波書店）の出版記念講演があります。

「ハブられても生き残るための深層心理学 出版記念 オンライン講座」

日時：4/29（金・祝）13：30～15：00

講師：きたやまおさむ（精神科医・エッセイスト）

日本社会で起こりがちな同調圧力や異類排除の背景を、自身の経験をふまえ考察。人生の台本を書き換え自分らしく生きるためのヒントを話します。

参加費：3850円（朝日カルチャーセンター会員は3300円）

5/7 「生き残る」ための精神分析」

【オンライン受講】<https://www.asahiculture.jp/course/shinjuku/b66c6dab-2ef9-1b2c-9ca6-61bd6f591b55>

【教室受講】<https://www.asahiculture.jp/course/shinjuku/5145423b-bd4e-6654-8369-61fa46839326>

4/29 「ハブられても生き残るための深層心理学 出版記念」

<https://www.asahiculture.jp/course/shinjuku/435c3f05-1120-eb74-d8e8-61bd702df996>

◆3/31までにお申し込みで受講料が10%オフになります。（定員は各20名までに設定しています。）

講師略歴

北山修：1946年生まれ。京都府立医科大学卒業、ロンドン大学精神医学研究所で卒後研修。帰国後、北山医院（現南青山心理相談室）院長。元日本精神分析学会会長、前日本精神分析協会会長、日本精神分析協会精神分析的精神療法家センター長。九州大学名誉教授、白鷗大学名誉教授。個人開業。著書：『錯覚と脱錯覚』（岩崎学術出版社）『北山修著作集』（日本臨床の深層、全3巻）（岩崎学術出版社）『幻滅論』（みすず書房）『共視論』（共著、講談社）『劇的な精神分析入門』（みすず書房）『最後の授業』（みすず書房）『フロイトと日本人』（編著、岩崎学術出版社）その他多数

岡田 晓宜 1967年愛知県生まれ。名古屋市立大学大学院医学研究科修了。愛知教育大学保健環境センター准教授、南山大学人文学部心理人間学科教授、名古屋工業大学保健センター教授を経て、現在、慶應義塾大学環境情報学部教授。精神科専門医、臨床心理士。日本精神分析協会正会員・訓練分析家。小寺記念精神分析研究財団理事。編著：『精神分析と文化—臨床的視座の展開』（岩崎学術出版社）、その他。

池田政俊：1960年生まれ。千葉大学医学部卒業。国保旭中央病院、帝京大学市原病院を経て帝京大学大学院文学研究科教授。南青山心理相談室長。精神保健指定医、臨床心理士、公認心理師、日本精神神経学会専門医、指導医、日本精神分析学会認定スーパーバイザー、日本精神分析協会正会員、精神分析家。（公財）精神分析武田こころの健康財団理事。共編著『北山理論の発見—錯覚と脱錯覚を生きる』（創元社）、その他。